

群馬県青少年赤十字の 現状と課題について



日本赤十字社群馬県支部
組織振興課長 糸井 政幸

1

本日させていただくお話

1 青少年赤十字の「現状」について

2 青少年赤十字の「課題」について

2

2

本日させていただくお話

1 青少年赤十字の「現状」について

- (1) 青少年赤十字の目的
- (2) 青少年赤十字の活動
- (3) 学校教育との関係

2 青少年赤十字の「課題」について

3

3

1(1) 青少年赤十字の目的

4

4

赤十字と青少年赤十字

・赤十字の考え

- ・人の痛みや苦しみに目を向ける
- ・利己心と闘う 無関心に陥らない
- ・常に想像力を持って行動する
- ・人の「いのち」「健康」「尊厳」を守る

・青少年赤十字の目的

赤十字のやさしさや、思いやりのこころ(人道的価値)
を持った子どもを育成する

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

われどもは、世界の平和と幸福を希望する3つの基本原則に基づいて行動します。

第 1 国境のないと見做し、難民を助けるため、危機の時に義理に訴える。

第 2 早く行動も怠りません。最も早い行動を必要とする。

第 3 全ての人の権利を尊重し、いかなる場合でも、いかなる事にも行いません。

第 4 平和の目的達成のためには議論に訴えるが、平和と非暴力の他手段を必要とする。

第 5 利益を求めず、人を助けるため、徹底的に行動します。

第 6 国境内唯一の平和活動として、すべての人に平和の活動機会を渡す。

第 7 世界に平和が訪れるまで3つのステップを完了し、国境のない活動を行って行きます。

わたしたちの決意

わたしたちは、善十字運動の強い手として
人達の笑顔のために、
利己心と闘い、無私心に関与することなく、
人の痛みや苦しみに涙を向け、
常に想像力をもって行動します。

Ⅰ 「青少年赤十字」の目標

実践目標

健康安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標

気づき、考え、実行する

人道（やさしさ、思いやり）の輪の拡大

誰の心の中にも本来ある
「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し
主体的に行動できるこどもを育てる

■「青少年赤十字」の実践目標

健康・安全

- ・いのちと健康を大切にする力を養う
(いのちとけんこう)

奉仕

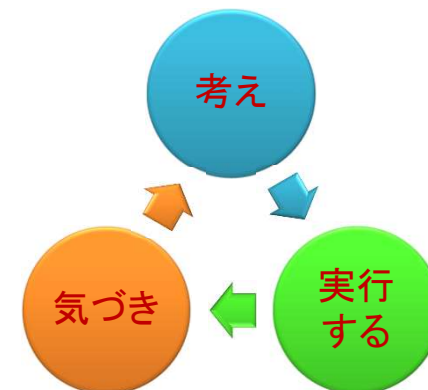
- ・人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、手助けができる力を養う(しんせつ)

國際理解

・親善

- ・ 世界が抱える問題に関心をもち、世界のことを正しく知り、仲よく助け合う精神を養う(なかよく)

■「青少年赤十字」の態度目標



児童・生徒が自主的で自律した生活態度を養うための目標


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1 (2) 青少年赤十字の活動

9


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1 (2) 青少年赤十字の活動

- ・学校活動
- ・地区活動
- ・県活動

10


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

群馬県青少年赤十字の概況（令和7年度）

群馬県の加盟率 96.1%

加盟校 543校 加盟メンバー数 12万7,819人

※小中高の公立校は100%加盟
 ※公立中学校は平成27年度(2015年度)に全校加盟
 ※公立小学校・公立高等学校は平成28年度(2016年度)に全校加盟
 ※令和7年度は新島学園中学校・高等学校様、沼田特別支援学校様に
加盟いただいております

(参考)全国の概況（令和6年度）

(1) 全国の加盟校数 1万2,474校

(2) 全国のメンバー数 320万1,047人

(3) 全国の加盟率 35.7%

11


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

全国データで見る青少年赤十字

校種別加盟率	小学校	中学校	高等学校
1位	岐阜県(100%) (340校 / 340校)	岐阜県(100%) (180校 / 180校)	香川県(100%) (40校 / 40校)
2位	群馬県(99.3%) (299校 / 301校)	富山県(97.3%) (73校 / 75校)	群馬県(96.1%) (74校 / 77校)
3位	福島県(98.7%) (373校 / 378校)	群馬県(96.8%) (153校 / 158校)	徳島県(94.4%) (34校 / 36校)
4位	福井県(95.8%) (183校 / 191校)	福島県(96.1%) (198校 / 206校)	大分県(85.2%) (46校 / 54校)
5位	香川県(93.7%) (149校 / 159校)	香川県(93.2%) (68校 / 73校)	和歌山県(82.6%) (38校 / 46校)
全国平均	37.0%	34.8%	36.3%

出典: 令和6年度 日赤本社データ

12

小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援			
	学校数	加盟校数	加盟率
群馬県	570	545	95.6
香川県	285	270	94.7
岐阜県	642	606	94.2
徳島県	322	295	91.6
福島県	732	631	86.3

出典:令和6年度 日赤本社データ

13

学校での活動例

医療従事者へメッセージ

ハザードマップ作製

オンライン防災講習

登録式

防災講習

清掃活動

14

学校での活動例

花いっぱい運動

地区トレーニング・センター

あいさつ運動

美化運動

15

実践推進校(令和8～9年度)

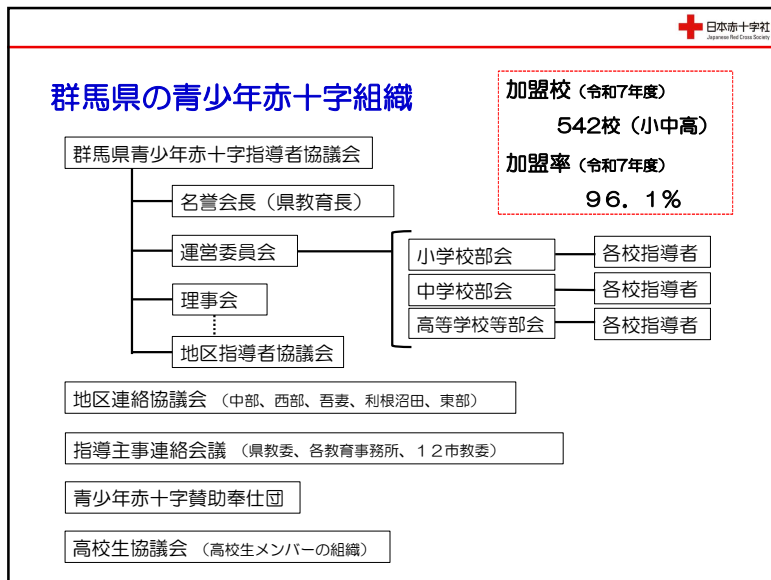
高崎市立片岡小学校

自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成
～青少年赤十字の態度目標踏まえた特別活動等の充実を実践を通して～

前橋市立南橘中学校

主体的に課題解決できる生徒の育成
～青少年赤十字の精神に基づき、自ら問いを見出し、よりよく解決していく過程を通して～

16



17



18

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

県リーダーシップ・トレーニング・センター

**リーダーシップ・トレーニング・センターに
参加してみませんか？**

他校の児童・生徒との共同生活の中で、
新たな発見や学びが、新たな絆の芽生えが広がります。

指示のない生活
生活の中心が「指導」から「自主・自立」へと変わり、仲間意識や自主・自立の心が育ちます。

ボランティア・サービス(V+S)による問題解決
地域の課題を解決するために、各々が力を合わせて取り組むことで、地域社会の発展に貢献します。

ワークショップ
各々が持つ個性や才能を活かし、チームワークを高め、課題を解決します。

ホームルーム
他校の児童・生徒と交流し、互いの文化や考え方を学び、絆を深めます。

野外活動・レクリエーション
自然の中で活動し、体力を鍛え、仲間意識を高め、自己肯定感を育みます。

トレセンの特別なプログラム
他校の児童・生徒と交流し、互いの文化や考え方を学び、絆を深めます。

リーダーシップ・トレーニング・センターの日程(例)

日	時間	内容
1日目	10:00~12:00	受付・開会式
1日目	13:00~15:00	オリエンテーション
1日目	16:00~18:00	夕食・交流
2日目	10:00~12:00	朝食・開会式
2日目	13:00~15:00	オリエンテーション
2日目	16:00~18:00	夕食・交流
3日目	10:00~12:00	朝食・開会式
3日目	13:00~15:00	オリエンテーション
3日目	16:00~18:00	夕食・交流

開催日程

小学校 8月20日（水）～22日（金）
中学校 8月 4日（火）～ 6日（木）
高校 7月27日（月）（日赤群馬県支部で1日研修）
7月29日（水）～31日（金）

※各校種とも宿泊は2泊3日（赤城少年自然の家）

19

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

リーダーシップ・トレーニング・センター(赤城少年自然の家 2泊3日)

指示のない生活を通して、仲間意識や自主・自立の心を育てます。

※小中高等学校ごとに実施

- ・防災教育プログラム
- ・実技学習(AED、炊き出し実習 他)
- ・ボランティアの実践
- ・フィールドワーク など

赤城少年自然の家リーダーシップ・トレーニング・センター日程

時間	内容
8:00	朝食
9:00	開会式
10:00	オリエンテーション
11:00	防災教育プログラム
12:00	昼食
13:00	実技学習(AED、炊き出し実習 他)
14:00	ボランティアの実践
15:00	フィールドワーク
16:00	夕食
17:00	交流
18:00	退会式
19:00	夕食
20:00	交流
21:00	就寝
22:00	起床

B. アイデアの宝庫

みんなのアイデアをここに貼って、みんなで考えよう！

20

青少年赤十字の指導上の考え方

- 先見（先を見通して行動できる態度）
- ボランティア・サービス（奉仕活動）による問題解決
- 指示のない生活（掲示板の活用）
- 積極的な待ちの姿勢
- 「人道の4つの敵」の克服
（利己心、無関心、認識不足、想像力の欠如）



主体的に行動する子どもの育成

21

1(2) 青少年赤十字の活動 教材:「まもるいのち、ひろめるぼうさい」

22

防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」

防災教育の達成目標

まもるいのち

自分のいのちを守る力を身につけること。

ひろめるぼうさい

学校、地域、家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りのいのちを救うこと。いのちの大切さ、思いやる心を育てること。



23

防災教育プログラム(教材)



テキスト
(指導案)



DVD
(映像)



CD-R
(教材)

* テキスト、DVD、CD-Rには、小学生用(1～3年)、小学生用(4～6年)、中学生用・高校生用の3バージョンを収録

* DVD(映像)は、日本語字幕、副音声対応(チャプターで選択し災害別に学べる)

24

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害シミュレーション

● グループワーク活動 1-4
青少年赤十字社は教育プログラム（災害時のシミュレーション）を通じて

災害が起きて、すぐに避難が必要。あなたは何をスーツケースに入れますか？
ポイント：正解はありません。選んだ理由、選ばなかった理由を発表してもらう。個人ワーク、グループワークどちらでも可能。

【タオル】 【本】 【携帯電話】 【医療・災害の道具】
【敷物】 【水】 【ゲーム】
【食料】 【おもちゃ】

25

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

子どもがやっても、大人（先生）がやっても、仲間作り、チームワーク作りは、笑顔になります

26

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1(3)学校教育との関係

27

27

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

学校や幼稚園・保育所に組織されています

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校、特別支援学校等の中に組織されており、学校・幼稚園の先生や保育所の保育士が指導者となります。

学校や園は、それぞれの教育・保育方針に基づいて自主的に青少年赤十字を採用し、実態に即して計画、実践することになっています。

↑ 学校教育の中に、青少年赤十字の立ち位置があります

何を実践するかは学校や園の自由裁量です

日本赤十字社では、青少年赤十字の活動のための資料提供、赤十字の全国的・国際的組織を活用した便宜供与や学校間連携の支援、希望する加蓋校の教員、生徒向けの研修などを実施していますが、指示や通達によって学校内の組織を拘束することはありません。

日本赤十字社が提供する資料をどのように活用するかは、あくまでも学校や園が自主的に判断します。

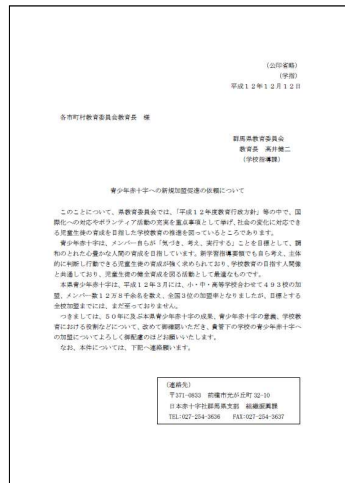
↑ 青少年赤十字の「考え方」や「教材」を学校の中で自由に使ってください

青少年赤十字は世界的な組織です

世界191の国と地域に同じ理想を掲げ、実践している姉妹赤十字社の組織がありますので、国内の学校やメンバー間はもちろん、姉妹社の青少年赤十字メンバー同士の人、情報、物（国際親善アルバムなど）の交流も盛んに行われています。なお、青少年赤十字は「JRC」と呼ばれることもあります。JRCは Junior Red Cross の略です。外国では「Red Cross Youth(RCY)」と呼ばれることもあります。

日本赤十字社（本社）ホームページから

28



昭和57年度
教育行政方針
「国際理解教育の推進と
JRC活動の振興」

県教育長名通知
「JRC加盟の推奨に
ついて」
⇒市町村教育委員会
各学校長

第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン
計画期間：2024年4月～2029年3月

最上位目標 自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

社会をつくるのも変えていくのも
「誰か」じゃなくて「自分」だよ。

自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰しも、生まれついて 自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。

- 一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す『自律した学習者』であること
- 子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
- 地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

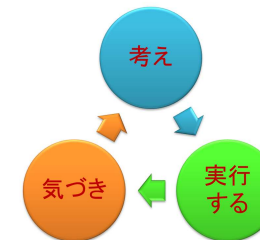
現状の課題



- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要なのは、どんなものなのか？

2024年3月 群馬県教育委員会

キーワードとなる
ものが、赤十字や
青少年赤十字の
考え方と合致する
ものではないかと
考えております

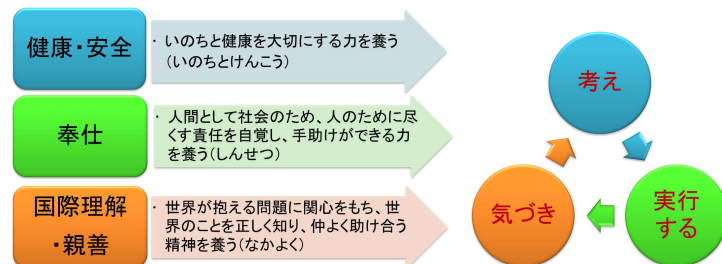


学習指導要領との関わり **日本赤十字社(本社)ホームページから**

新学習指導要領では「学びに向かう力・人間性等の涵養(かんよう)」「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」の三つの柱を掲げており、主体的・対話的で深い学びを実現しながら「社会に開かれた教育課程」を目指しています。

約100年にわたり先生方と培ってきました青少年赤十字の実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」と態度目標「気づき」「考え」「実行する」や、指導理念は、この新学習指導要領と結びつくものがあります。

・・・という点を見出していただけたら、ありがたく存じます



新学習指導要領と青少年赤十字の目標が合致

新学習指導要領では育成すべき能力として「思考力」、「判断力」、「表現力」が示されています。これらは青少年赤十字の目標と合致しています。

赤十字の目的である人道の実現、青少年赤十字においては人道的な心を持つ子どもを育成することは「自分の力を社会のために役立てる子」の育成であり、青少年赤十字は特別なことではなく、日頃の学校生活を青少年赤十字のフィルターを通して評価することが青少年赤十字の活動です。

⇒ 青少年赤十字活動は『特別』なものではありません

- 体験学習の充実（炊き出し体験、救急法講習）
- 道德教育の充実（5分前行動、清掃活動、募金活動）
- 防災・安全教育の充実（防災教育プログラム）
- 生徒指導の充実（リーダーシップ・トレーニング・センター）
- いじめ対策（人道法の学習、JRCの目的の意識づけ）
- キャリア教育の充実（リーダーシップ・トレーニング・センター）
- 地域に開かれた学校（ボランティア活動、施設訪問）

2 青少年赤十字の課題

33

33

青少年赤十字の課題について

1 指導者の育成

⇒ 現状、トレーニングセンターや指導者講習会運営に向けた青少年赤十字の指導者が不足しています。今後、青少年赤十字の考えを学校教育の中で広めていただくことの意義を継続して発信することにより、各教育委員会や校長先生方の更なる理解促進を図り、参加しやすい環境作りに努めます。

2 活動の活性化

⇒ 新型コロナウイルスの影響によって規模を縮小、または中止していた活動を関係者の理解を踏まえたうえで再開していくとともに、各地区または学校単位での活動について、活性化に繋がるよう、積極的に情報提供を推進します。

34

まとめ

35

35

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —



豊かな心をもった青少年の育成強化

- これからの教育現場のニーズに即した「青少年赤十字」活動の再編
- 「不登校」や「いじめ」等の学校が抱える問題解決の一助となる人道教育の展開
- 地域社会とのつながりを体感できる新たな「青少年赤十字」活動の導入

36

青少年赤十字活動は、決して特別なものではありません。

そして、新しいことを求めるものではございません。

すでに学校で実施していることと、青少年赤十字の考え方が「合致している！」と見出していただくことも、『ご活用』いただくひとつかと考えます。

「教材」「行事」、そして「考え方」を
学校教育の中で、
是非、ご自由にご活用ください。

